

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 20 日現在

機関番号：17301

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K10322

研究課題名（和文）クリニカルパスの診療の質・安全及び病院経営に対する効果と適切な運用に関する研究

研究課題名（英文）Research on the effects and appropriate operation of clinical pathways on the quality and safety of medical care and hospital management

研究代表者

松本 武浩（Matsumoto, Takehiro）

長崎大学・病院（医学系）・准教授

研究者番号：20372237

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：クリニカルパスの医療の質、医療安全、経営改善効果に関する効果を評価した。入院日数では、パス利用例が未利用例より7.5日短く、（平成28～令和2年度）医療の質では、2週間内再入院率が未利用例より低く（平成28～30年度）医療安全では、パス利用例のインシデント報告率が未利用例より低く（平成30～令和2年度）、病院経営では、平均収支が未利用例の-111,559円に対し76,092円と高く、黒字症例も有意に多い点を示した（平成28～令和2年度）。外来パスでは、入院パス以上の効果を示すことができた。以上により、パスの効果は、入院日数短縮に加え医療の質、医療安全、経営改善にも効果が得られる点を示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

医療を取り巻く環境の変化に加えCOVID-19の影響により、特に病院経営面でのマネジメントが困難を極めてい

る。パスは導入当初入院日数短縮を目的とされたが、標準化医療の具体的適応が可能な手法であり医療安全面を含めた医療の質改善効果が得られる。しかしながら医療の質改善や病院経営面の効果のエビデンスは乏しい。本研究により入院日数短縮効果はもちろん、医療の質、医療安全に加え病院経営面でもパスの有効性を示した。この結果はパス利用が、入院日数短縮と医療の質を両立させつつ、経営効果を高めるという求められる命題を解決する数少ない手段を示したものであり、学術的にも社会的にも意義深いものと考えられる。

研究成果の概要（英文）：The effects of clinical pathways on medical quality, medical safety, and management improvement were evaluated. In terms of length of hospital stay, patients who used the pathway were 7.5 days shorter than those who did not (FY2016-FY2020). In terms of quality of medical care, the readmission rate within two weeks was lower than those who did not (FY2016-FY2018). In terms of medical safety, patients who used the pathway had a lower incident reporting rate than those who did not (FY2018-FY2020). In terms of hospital management, the average income and expenditure was 76,092 yen, higher than those who did not use the pathway, at -111,559 yen, and there were significantly more cases with a profit (FY2016-FY2020). Outpatient pathways were more effective than inpatient pathways. The above shows that the effects of the pathways are not only shortening the length of hospital stay, but also improving medical quality, medical safety, and management.

研究分野：医療情報学

キーワード：クリニカルパス 医療の質 医療安全 経営効果 地域連携パス

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

医療費高騰問題はわが国の喫緊の課題であり、近年連続した診療報酬のマイナス改定と消費税増税および入院日数削減への行政誘導により、多くの急性期病院の経営は悪化し、閉院病院も増えている。厚生労働省は令和元年9月28日、再編・統合を促す方針の公立・公的424病院のリストを公表したが、これは診療実績に基づくものであり今後ますます閉院、統廃合は進むものと思われる。なお、医療の質と医療安全の確立は、今や医療機関の存立条件であり、短縮化した入院期間の中で濃密で高品質診療を実現する必要がある。COVID-19 パンデミックにより多くの医療機関に受診する患者数が減少した点もさらに拍車をかけているが、2024年度からの働き方改革により実質労働時間も制限される中、今後ますます急性期病院の経営および病院マネジメントは困難を極めるものと予測される。一方、パスは1990年頃よりわが国での利用が始まった入院診療管理手法であるが、入院日数短縮に有効と利用が普及した。しかしながら真の目的は診療内容の標準化による医療品質の向上であり、日本クリニカルパス学会でもそのように定義している。また、2003年より入院医療費抑制に向け、DPC(Diagnosis Procedure Combination)が導入され、今ではほとんどの急性期病院が採用しているが、DPC下では必要以上の検査、処置や高価な薬剤・医療材料の使用は1入院単位の収支悪化要因である。これに対しパスは、使用前に検証が可能であるためDPC導入後パスの価値はさらに増した。したがって、医療経営が難しくなる中、パス利用の活発化は極めて合理的である。しかしながら現状では、いまだパス利用が少ない急性期病院は少なからず存在し、特に大学病院での利用は極めて低い。また利用が活発な急性期病院にも利用率が低い診療科があり、その診療科傾向は必ずしも他の医療機関と一致していない。つまり、多くの病院がさらにパス利用率を向上させる余地がある。しかしなぜ、このような状況が現状なのであろうか。その一因はこれまでパスの経営・マネジメントに対する効果が適切に評価なされていないことが考えられる。海外からの報告では、入院日数短縮効果、コスト削減効果の論文が散見されるが、本邦では少なく、わが国の医療制度下の明確なエビデンスに乏しい。逆に明らかな入院日数短縮効果、医療安全と医療の質への効果そしてコスト削減効果を示すことができれば、もはやパス利用は必須となり、医療の標準化は進み医療の質、医療安全は向上する上、コスト削減効果から経営安定化に寄与し、同時に医療費抑制にも寄与できるものと思われる。

2. 研究の目的

パスは医療安全を含めた医療の質向上と入院日数減少を含めたコスト削減を実現できる数少ない具体的な医療マネジメントツールである。しかしながらわが国において多くの急性期病院が導入しているものの、活発に利用している医療機関においても利用度が低い診療科や医師が少なからず存在し、医療機関間にもその利用度には差があり特に大学病院での利用度は低い。この結果はパスの効果に対するわが国における明確なエビデンスが証明されていないことを意味している。一方ではパス利用しても効果が乏しいケースもあり、これはパスの運用方法に問題がある可能性がある。本研究では、電子カルテ導入施設増に伴いもはや主流である電子化パスにおいて、入院パス、外来パス、地域連携パスの3種において医療の質、医療安全、コスト削減を主とした経営改善効果に関するエビデンスの明確化とその運用要件を定義することを目的としている。

3. 研究の方法

<令和2年度>

(1)入院クリニカルパスの効果評価

平成29年度～令和元年度の期間に長崎大学病院への入院中、パスを入院から退院まで利用した入院患者を対象に以下の評価を行う。

①入院日数に関する評価

新規に運用開始したパスに対し、開始前後1年間の平均入院日数を比較および既存パスの設定入院日数変更前後1年間の平均入院日数を比較評価する。また、パス設定日数に対する実際のパス入院日数が延長している原因ならびにパス運用の課題を検証する。

②医療の質に関する評価

2週間以内の同一診療科緊急再入院数をパスの利用の有無にて診療科別に評価する。

③医療安全に関する評価

長崎大学病院の2017年度より運用しているインシデントレポートシステム（ケービーソフトウエア社 After Incident）を用い、影響度Ⅲb以上の発生数をパスの有無で比較評価するとともに新規に運用開始したパスに対し、開始前後1年間の影響度Ⅲb以上の発生数を比較評価する。

④病院経営への影響に関する評価

長崎大学病院の原価計算システム（コアクリエイト社 Mercury）を利用し、DPC単位の収支を算出し、黒字症例数、一日あたり収支をパスの有無にて評価する。

＜令和3年度以降＞

(1)入院クリニカルパスの効果評価

平成29年度～令和元年度までの期間に加え、令和2年度、3年度を対象に加え令和2年度同様の分析および年度比較を行う。

- ①入院日数に関する評価
- ②医療の質に関する評価
- ③医療安全に関する評価
- ④病院経営への影響に関する評価

(2)外来クリニカルパスの効果評価

平成29年度～令和元年度の期間に長崎大学病院における外来パスとして運用している手術例の術前検査パスを実施した外来患者を対象に以下の評価を行う。

- ①入院日数に関する評価
術前検査パスを実施した患者と未実施の患者に対し平均入院日数と平均術前日数を評価する。
- ②医療の質に関する評価
2週間以内の同一診療科緊急再入院数をパスの利用の有無にて診療科別に評価する。
- ③病院経営への影響に関する評価

長崎大学病院の原価計算システム（コアクリエイイト社 Mercury）を利用し、DPC単位の収支を算出し、黒字症例数、一日あたり収支をパスの有無にて評価する。

(3)地域連携パスの評価

長崎県の地域医療情報ネットワーク「あじさいネット」に構築した地域連携パスのうち乳がんパスと心不全パスを適用した患者に対し以下の評価を行う。

＜乳がんパス・心不全パス共通＞

- ①適切な運用に関する評価
予定された日付に対する受診、予定された問診、診察、検査の実施状況の評価する。

＜乳がんパスのみ＞

- ②医療の質に関する評価
がんステージ毎に退院より再入院までの平均日数ならびに再入院率を地域連携パス有無で評価する。同様に3年生存率・5年生存率を地域連携パスの有無で評価する。
- ③紙媒体地域連携パスとの比較
利用しているステージを比較し、ステージ毎に退院より再入院までの平均日数ならびに再入院率を比較の上、3年生存率と5年生存率を比較する。

4. 研究成果

本研究では、クリニカルパス（以下 パス）の医療の質、医療安全、経営改善効果に関する効果を評価し以下の結果が得られた。(1)平均入院日数は、平成28～令和2年度のパス利用例が未使用例より7.5日短い。(2)医療の質では、平成28～30年度のパス利用例の2週間以内再入院率が未使用例2.75%に対し1.07%と低い。(3)医療安全では、平成30～令和2年度のパス利用例のインシデント報告率が未使用例22.9%に対し8.5%と低い。(4)病院経営では、平成28～令和2年度のパス利用例の平均収支が未使用例の-111,559円に対し76,092円と高く、黒字症例も有意に多い点を示した。(5)外来パスでは、(手術)術前検査パスが入院日数短縮と経営改善効果が入院パス単独よりも高い点を示した。(6)地域連携パスについては、平成29年～令和5年間の運用数が77例。疾患は、脳卒中、心不全、糖尿病・歯周病管理、心筋梗塞後再発予、乳がんと汎用パスの6種であり、平均運用期間は259.0日、最長は1,839日。1年以上の運用は14例だった。検査結果の入力例は、パス管理病院（専門病院）が62例（80.5%）、このうち連携施設の入力例は21例（27.3%）であり、効果の有意な結果は得られなかった。以上により、パスの効果は、一般的な入院日数短縮だけでなく医療の質、医療安全、経営改善にも効果が得られる点を示した。地域連携パスの効果については今後、長期間の評価が必要である。本研究の限界は、いずれも電子化パスであり、紙媒体パスの評価は不明である点と、経営効果の面では、赤字症例も少なからずみられ、その多くは併存症や合併症の影響が考えられるが、それらが無い例でパスとして適切な運用を実施していても赤字なのかについては不明であり、今後の研究が必要である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計23件（うち査読付論文 15件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Kinoshita Takuya, Matsumoto Takehiro, Taura Naota, Usui Tetsuya, Matsuya Nemu, Nishiguchi Mayumi, Horita Hozumi, Nakao Kazuhiko	4. 巻 6
2. 論文標題 Public Interest and Accessibility of Telehealth in Japan: Retrospective Analysis Using Google Trends and National Surveillance	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JMIR Formative Research	6. 最初と最後の頁 e36525 ~ e36525
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/36525	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muro Takahiro, Ando Fumihiko, Suehiro Marie, Nakagawa Hiroo, Okuda Chieko, Matsumoto Takehiro, Izumikawa Koichi, Honda Masayuki, Sasaki Hitoshi	4. 巻 46
2. 論文標題 Utility of Blood Culture in Patients with Community-Acquired Pneumonia: A Propensity Score-Matched Analysis Based on a Japanese National Health Insurance Database	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 237 ~ 244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b22-00609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muro Takahiro, Ando Fumihiko, Suehiro Marie, Nakagawa Hiroo, Okuda Chieko, Matsumoto Takehiro, Izumikawa Koichi, Honda Masayuki, Sasaki Hitoshi	4. 巻 46
2. 論文標題 Utility of Blood Culture in Patients with Community-Acquired Pneumonia: A Propensity Score-Matched Analysis Based on a Japanese National Health Insurance Database	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 237 ~ 244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b22-00609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩	4. 巻 111(4)
2. 論文標題 地域医療と情報通信技術 (Information and Communication Technology :ICT) シリーズ「地域医療を实践する内科医とは」具体的な地域医療活動	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本内科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 795-799
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩, 木下琢也, 田浦直太, 西口真由美, 堀田ほづみ, 山口真美, 伊藤眞由美, 井上公介, 辻 藍	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本クリニカルパス学会雑誌	6. 最初と最後の頁 159-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩	4. 巻 37(7)
2. 論文標題 【アフター&ウィズコロナ時代の遠隔医療最前線 オンライン診療から遠隔手術支援まで、これからのスタンダードを知る】地域医療連携における遠隔医療 「あじさいネット」の取り組み	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 INNERVISION	6. 最初と最後の頁 32-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶺 豊春, 室 高広, 山口真美, 田浦直太, 松本武浩	4. 巻 23(3)
2. 論文標題 メディカルサポートセンター術前検査・持参薬確認業務の運用と評価	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本医療マネジメント学会雑誌	6. 最初と最後の頁 176-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩, 木下琢也, 田浦直太, 西口真由美, 堀田ほづみ, 山口真美, 伊藤眞由美, 井上公介, 辻 藍	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 病院経営を意識したパスの作成・運用・見直し-各専門職の目線- 原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本クリニカルパス学会誌	6. 最初と最後の頁 2187-6592
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩, 森崎正幸	4. 巻 49(10)
2. 論文標題 【真に有用な地域医療連携システム強化の要諦】情報共有の促進で期待される医療の質向上の実際 循環器・呼吸器疾患に対する地域医療連携システムを活用した質向上の取り組み	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 新医療	6. 最初と最後の頁 64-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 米澤理沙, 西口真由美, 堀田ほづみ, 松本武浩	4. 巻 23
2. 論文標題 患者用クリティカルパス監査の現状と今後の課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本医療情報学会看護学術大会論文集	6. 最初と最後の頁 153-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木下琢也, 田浦直太, 西口真由美, 堀田ほづみ, 松本武浩	4. 巻 23
2. 論文標題 COVID-19禍における訪問看護と電話診療の実態 リアルワールドデータを用いた流行前後の比較	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本医療情報学会看護学術大会論文集	6. 最初と最後の頁 77-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大伴哲治, 松本武浩, 辻 明美, 伊藤真由美	4. 巻 647
2. 論文標題 インクジェットプリンター採用による業務改善効果	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 医事業務	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶺 豊春, 山口真美, 松本武浩	4. 巻 23(4)
2. 論文標題 入退院支援センターにおける術前休薬プロトコルの導入とその	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本医療マネジメント学会雑誌	6. 最初と最後の頁 1881-2503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩	4. 巻 4
2. 論文標題 医療ICTと医師事務作業補助者支援による未読ゼロへの取り組み	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 新医療	6. 最初と最後の頁 82-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩	4. 巻 46
2. 論文標題 アフター&ウイズコロナ時代の遠隔医療最前線 オンライン診療から遠隔医療手術支援まで、これからのスタンダードを知る 地域医療連携における遠隔医療 あじさいネットの取り組み	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 IT vision	6. 最初と最後の頁 32-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 E. Yamaguchi, Y. Obase, S. Fukahori, J. Iriki, T. Kawano, N. Sakamoto, R. Doi, K. Matsumoto, T. Tsuchiya, C. Fukushima, T. Matsumoto, T. Nagayasu, H. Mukae	4. 巻 46(6)29
2. 論文標題 Preoperative respiratory intervention eliminated the operation cancelations of lobectomy surgery	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Med Syst	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10916-022-01811-5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩	4. 巻 111(4)
2. 論文標題 地域医療と情報通信技術 (Information and Communication Technology : ICT) シリーズ「地域医療を实践する内科医とは」テーマ： . 具体的な地域医療活動	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本内科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 795-799
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩, 木下琢也, 田浦直太, 西口真由美, 堀田ほづみ, 山口真美, 伊藤真由美, 井上公介, 辻 藍	4. 巻 -
2. 論文標題 原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本クリニカルパス学会雑誌	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩	4. 巻 48(7)
2. 論文標題 成長につながるH I S 課題解決の具体策 電子クリニカルパスに導入した退院指示自動化の価値とHISをDXツールとして利用する取組み	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 新医療	6. 最初と最後の頁 44-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Matsumoto, N. Taura, K. Kawasaki, H. Masuzaki, M. Honda	4. 巻 64
2. 論文標題 The Impact of the Health Information Exchange System for the hospital management in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Medica Nagasakiensia	6. 最初と最後の頁 39 ~ 44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神田紘介, 北原隆志, 松本武浩, 室 高広	4. 巻 21(2)
2. 論文標題 薬剤師による入院前持参薬確認外来の開設	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本医療マネジメント学会雑誌	6. 最初と最後の頁 106 ~ 109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩	4. 巻 30(4)
2. 論文標題 医師から見たN-PaPa看護計画の意義, 個性と均質なケアを実現するN-PaPa看護計画 Nagasaki university hospital Patient Participation in planning type nursing care plan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床看護記録	6. 最初と最後の頁 29 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本武浩	4. 巻 43
2. 論文標題 長崎大学病院における医療情報システムのBCP	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IT Vision	6. 最初と最後の頁 50 ~ 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計100件 (うち招待講演 43件 / うち国際学会 2件)

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 「CITA」と医師事務作業補助者支援による未読「0」への取組み
3. 学会等名 第1回日本医用画像管理学会 学術大会, 20220515, (東京 オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 Value, Issues and Future of Health Information Exchange System in Japan -What have been learned from the operation of Ajisai-net for 18 years-
3. 学会等名 ノバルティス本社グローバルヘッド向け講演（長崎 長崎大学病院），20220704（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域完結型医療時代における質の高い地域医療のための地域医療情報ネットワークの活用
3. 学会等名 第2回 阿波あいネットセミナー，20220714，（徳島 オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域包括ケア時代の質の高い医療と介護 ～地域医療連携ネットワークの価値と薬剤師の関わり～
3. 学会等名 台原地域医療連携公開勉強会，20220719，（仙台 オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域包括ケア時代の医療と看護とは？ ～情報化と連携で患者が望む日々を提供する医療と看護
3. 学会等名 第23回日本医療情報学会看護学術大会（基調講演），20220723，（長崎）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 あじさいネットネットワークパス概説
3. 学会等名 愛媛大学医学部附属病院依頼講演, 20220727 (愛媛 オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 COVID-19まん延下のあじさいネット有効活用 ~ 佐世保総合医療センターはあじさいネットをどう活用すれば良いか
3. 学会等名 佐世保総合医療センター講演会, 20220915 (佐世保 佐世保総合医療センター) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 ICTの活用で変わる地域医療連携と離島・へき地医療 ~ 長崎県@あじさいネットの価値と将来展望 ~
3. 学会等名 第17回日本ルーラルナース学会 (基調講演), 20220917, (長崎 オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 【自治体におけるヘルスケアDXとAPPA】地域医療連携ネットワークによる医療DX 長崎県@あじさいネット概要とPHRの取組み
3. 学会等名 GSCA Japan Summit 2022 Autumn, 20220930 (東京 オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域完結型医療時代における質の高い地域医療のための地域医療情報ネットワークの活用
3. 学会等名 中外製薬株式会社講演会, 202201025, (長崎 オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域完結型医療の質向上にむけた地域連携ネットワーク
3. 学会等名 兵庫県但馬市医師会講演 (兵庫 オンライン), 20221115 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 あじさいネットを利用したオンライン診療と患者情報の診療活用 (PHR)
3. 学会等名 Enerzair Symposium 呼吸器疾患の未来戦略を考える in 長崎 (長崎 出島メッセ), 20231124 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域医療におけるデジタル化 ~地域連携ネットワークやオンライン診療を活用する次世代医療~
3. 学会等名 医療病院管理研究協会病院幹部研修会, 20221209, (東京 オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 あじさいネット（長崎県の診療情報ネットワーク）の現状と問題点について
3. 学会等名 大分大学医療機器ニーズ探索交流会， 20221215，（大分 レンブラントホテル大分）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 1) CITAを利用した画像レポート未読「0」への取組み（CITA Clinical Finder）2) 長崎県「あじさいネット」における離島救急画像診断システムの県全域展（SYNAPSE）
3. 学会等名 第23回日本医療情報学会学術大会 ランチョンセミナー6「長崎県における遠隔医療 / CITA既読管理による医療安全対策」， 20221118，（札幌）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域包括ケア時代の医療と看護とは？ ～情報化と連携で患者が望む日々を提供する医療と看護～
3. 学会等名 琉球大学医学部附属病院講演会， 20221221（沖縄 琉球大学医学部附属病院臨床講義棟 1階小講義室）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域医療情報ネットワーク「あじさいネット」の医療と介護の情報共有について
3. 学会等名 厚生労働省 健康・医療・介護情報利活用検討会 介護情報利活用WG参考人講演， 20230125（東京 霞が関 オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域包括ケア時代の医療と看護とは？ ~ 情報化と連携で患者が望む日々を提供する医療と看護 ~
3. 学会等名 第196回 医療情報システム研究会 ~看護業務を支援する情報システム(パート36)~, 20230204 (大阪 大阪HUB) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 日常診療における「あじさいネット」の活用方法 ~あじさいネットをこれから利用する先生方へ~, 少し先の医療について考える ~長崎県のICT(情報通信技術)を学ぶ~
3. 学会等名 第一三共主催講演会, 20230208 (長崎) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 西海市をモデルとしたあじさいネットを活用した情報包括化へ向けた未来構想
3. 学会等名 西海市地域医療ネットワーク研修会, 第1回 西海市地域医療ネットワーク研修会 在宅医療におけるICTを活用した多職種連携の構築へ向けて, 20230218 (長崎 西海市) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域医療における医療DX ~長崎県@あじさいネットの取組み~
3. 学会等名 第3回九州サイバーセキュリティシンポジウム, 20230316 (長崎 出島メッセ) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 医療DX時代の地域医療連携ネットワークを最大限に活用した次世代医療 ~マイナンバーカードの保険証利用, オンライン資格確認義務化 全国医療情報プラットフォーム構築 電子処方箋運用で変わる地域医療~
3. 学会等名 JPI (日本計画研究所) 特別セミナー, 20230414 (東京 興和広尾ビル オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 Value, Issues and Future of Health Information Exchange System in Japan -What have been learned from the operation of Ajisai-net for 18 years-
3. 学会等名 ノバルティス本社循環器領域グローバルヘッド (ビジネス責任者) 向け講演, 20230322 (長崎 長崎空港) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 井上公介, 辻 藍, 岩崎 恵, 辻 明美, 堀田ほづみ, 出口砂緒利, 伊藤真由美,
2. 発表標題 【シンポジウム】病院経営とクリニカルパス(診療報酬対策) クリニカルパスの経営改善効果 原価計算を利用した詳細分析
3. 学会等名 , 第22回日本クリニカルパス学会学術大会 (岐阜), 20221111-12
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 【シンポジウム 1 ポストコロナの大学病院の役割 地域連携におけるICTの活用について】コロナ禍で露呈した地域医療の脆弱性とオンラ イン診療の有用性と必要性
3. 学会等名 第18回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会 (神戸 オンライン), 20220708-09 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 【パネルディスカッション ID-Linkの軌跡と展望】地域医療連携ネットワークによる医療DX ~あじさいネットの機能強化~
3. 学会等名 第10回 全国ID-Link研究会(函館)、20221015(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西口真由美, 岡田みずほ, 小淵美樹子, 松本武浩
2. 発表標題 【パネルディスカッション】クリニカルパスと看護記録~看護が見える看護記録とは~ 患者の思いに寄り添うパス実践 患者参画型看護計画を通して
3. 学会等名 第22回日本クリニカルパス学会学術大会(岐阜), 20221111-12(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 【ワークショップ】「オンライン診療で実現する次世代型医療- オンライン診療の価値と可能性-」 「あじさいネット」におけるオンライン診療の推進とオンライン診療アプリケーションを利用したPHR構築の取り組み
3. 学会等名 第42回 日本医療情報学会連合大会(札幌), 20221119
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木下琢也, 松屋合歓, 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也, 西口真由美, 堀田ほづみ, 阪本純一, 中尾一彦
2. 発表標題 連携医療機関の距離とオンライン診療導入の関連 電話診療とアプリケーションとの比較
3. 学会等名 第26回日本医療情報学会春季学術大会(岡山 岡山コンベンションセンター), 20220630-0702
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也, 木下琢也, 阪本純一, 大伴哲治, 西口真由美, 堀田ほづみ, 藤沢章令, 本田千春, 牛嶋拓也, 伊藤眞由美, 中尾一彦
2. 発表標題 想定される様々な画像レポートに対応した画像・画像レポート未読管理システムの初期評価
3. 学会等名 第26回日本医療情報学会春季学術大会 (岡山 岡山コンベンションセンター), 20220630-0702
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木下琢也, 松本武浩, 田浦直太
2. 発表標題 COVID-19過におけるオンライン診療の使用実態 非常事態宣言の有無による比較
3. 学会等名 第24回医療マネジメント学会学術総会 (神戸 神戸国際会議場、神戸国際展示場), 20220708-09
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木下琢也, 松本武浩, 田浦直太
2. 発表標題 COVID-19過におけるオンライン診療の関心 グーグルトレンドを用いた相関分析
3. 学会等名 第24回医療マネジメント学会学術総会 (神戸 神戸国際会議場、神戸国際展示場), 20220708-09
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩, 山口真美, 田浦直太, 木下琢也
2. 発表標題 MSC術前検査の効果 入院日数と収支分析による、医療安全と病院経営に対する影響
3. 学会等名 第24回医療マネジメント学会学術総会 (神戸 神戸国際会議場、神戸国際展示場), 20220708-09
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩, 山口真美, 田浦直太, 木下琢也
2. 発表標題 画像レポート管理システム導入と医師事務作業補助者支援による未読管理効果
3. 学会等名 第24回医療マネジメント学会学術総会（神戸 神戸国際会議場、神戸国際展示場），20220708-09
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 米澤理沙, 西口真由美, 堀田ほづみ, 松本武浩
2. 発表標題 患者用クリティカルパス監査の現状と今後の課題
3. 学会等名 第23回日本医療情報学会看護学術大会（長崎 出島メッセ），20220722-0723
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木下琢也, 田浦直太, 西口真由美, 堀田ほづみ, 松本武浩
2. 発表標題 COVID-19禍における訪問看護と電話診療の実態 リアルワールドデータを用いた流行前後の比較
3. 学会等名 第23回日本医療情報学会看護学術大会（長崎 出島メッセ），20220722-0723
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 橋詰淳哉, 兒玉幸修, 坂元利彰, 伊藤真由美, 一橋了介, 松本武浩, 大山 要, 栗原慎太郎
2. 発表標題 薬剤禁忌・併用禁忌徹底に向けた部門システムの導入と評価
3. 学会等名 日本医療情報学会九州・沖縄支部会2022年度秋季研究会（長崎 長崎大学病院 第四講義室），20221001
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 一橋了介, 西口真由美, 堀田ほづみ, 辻 明美, 伊藤真由美, 岡田みずほ, 松本武浩
2. 発表標題 クリニカルパスを利用した入院一般指示の標準化
3. 学会等名 日本医療情報学会九州・沖縄支部会2022年度秋季研究会(長崎 長崎大学病院 第四講義室), 20221001
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊藤真由美, 牛嶋拓也, 一橋了介, 橋本淳子, 秋山久美子, 永井千佳子, 小森朋子, 山本純子, 永尾 香, 田浦直太, 松本武浩
2. 発表標題 重複記録減少に向けた「診療計画・経過サマリ」導入と運用評価
3. 学会等名 日本医療情報学会九州・沖縄支部会2022年度秋季研究会(長崎 長崎大学病院 第四講義室), 20221001
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 白井哲也, 石原香織, 本田千春, 木村由美子, 田浦直太, 長谷川寛雄, 松本武浩, 柳原克紀
2. 発表標題 外来採血オード完全時間予約化による待ち時間対策
3. 学会等名 日本医療情報学会九州・沖縄支部会2022年度秋季研究会(長崎 長崎大学病院 第四講義室), 20221001
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 辻 明美, 堀田ほづみ, 西口真由美, 木下琢也, 岡田みずほ, 松本武浩
2. 発表標題 長崎大学病院版患者参画型看護計画導入後の評価 ~理想的な看護に向けた「患者の目標」を共有するために~
3. 学会等名 日本医療情報学会九州・沖縄支部会2022年度秋季研究会(長崎 長崎大学病院 第四講義室), 20221001
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野上朋幸, 山下利佳, 松本武浩
2. 発表標題 電子カルテにおける歯科機能の強化 ~ 歯科技工オーダーアプリケーションの新機能 ~
3. 学会等名 日本医療情報学会九州・沖縄支部会2022年度秋季研究会 (長崎 長崎大学病院 第四講義室), 20221001
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大伴哲治, 松本武浩, 伊藤真由美, 辻 明美, 堀田ほづみ
2. 発表標題 インクジェットプリンタ採用の業務改善およびコスト削減効果
3. 学会等名 日本医療情報学会九州・沖縄支部会2022年度秋季研究会 (長崎 長崎大学病院 第四講義室), 20221001
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木下琢也, 松本武浩
2. 発表標題 歯科領域における電話診療の実態把握およびCOVID-19に伴う政策介入効果: 大規模セプトデータを用いた差分の差分分析
3. 学会等名 第26回日本遠隔医療学会学術大会 (埼玉), 20221028-29
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩, 木下琢也
2. 発表標題 地域医療・在宅医療における計測データ自動取得バイタルデバイス貸与の効果評価
3. 学会等名 第26回日本遠隔医療学会学術大会 (埼玉), 20221028-29
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 一橋了介, 松本 武浩, 田浦直太, 西口真由美, 辻 明美, 堀田ほづみ, 由良美幸, 伊藤真由美, 本田千春, 井上公介
2. 発表標題 院内バス教育活動の体制化とその取り組み
3. 学会等名 第22回日本クリニカルバス学会学術大会(岐阜), 20221111-12
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 黒部昌也, 本川哲史, 河野浩章, 西口真由美, 堀田ほづみ, 松本武浩, 前村浩二
2. 発表標題 患者セルフケア向上を目的とした心不全クリニカルバスの有用性
3. 学会等名 第22回日本クリニカルバス学会学術大会(岐阜), 20221111-12
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 田浦直太, 臼井哲也, 大伴哲治, 一橋了介, 辻明美, 堀田ほづみ, 山下利佳, 野上朋幸, 伊藤真由美
2. 発表標題 オンライン診療アプリケーション「YaDoc」を利用したPHR構築
3. 学会等名 第23回 日本医療情報学会学術大会(岡山 岡山コンベンションセンター), 20221117-20
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木下琢也, 田浦直太, 松屋合歓, 阪本純一, 臼井哲也, 辻 明美, 堀田ほづみ, 松本武浩
2. 発表標題 COVID-19禍におけるADHDと電話診療の実態 差分の差分分析を用いた政策介入効果
3. 学会等名 第23回 日本医療情報学会学術大会(岡山 岡山コンベンションセンター), 20221117-20
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大伴哲治, 松本武浩, 伊藤眞由美, 辻 明美, 堀田ほづみ, 一橋了介
2. 発表標題 病院情報システム更新におけるインクジェットプリンタ採用の業務改善およびコスト削減効果
3. 学会等名 第23回 日本医療情報学会学術大会(岡山 岡山コンベンションセンター), 20221117-20
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 白井哲也, 石原香織, 松本武浩, 木村由美子, 加勢田富士子, 長谷川寛雄, 柳原克紀
2. 発表標題 長崎大学病院における中央採血室混雑緩和のための取り組み
3. 学会等名 第23回 日本医療情報学会学術大会(岡山 岡山コンベンションセンター), 20221117-20
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 田浦直太, 白井哲也, 大伴哲治, 一橋了介, 辻 明美, 堀田ほづみ, 山下利佳, 野上朋幸, 伊藤眞由美
2. 発表標題 電子化クリニカルパスによるインシデント予防効果の評価
3. 学会等名 第23回 日本医療情報学会学術大会(岡山 岡山コンベンションセンター), 20221117-20
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩, 木下琢也, 後田実知子, 張岳輝子, 山下佳利, 橋詰淳哉, 栗原慎太郎
2. 発表標題 画像レポート管理システム導入と医師事務作業補助者支援による未読管理効果
3. 学会等名 第17回日本医療の質・安全学会学術集会(神戸 神戸国際会議場、神戸国際展示場), 20221126-27
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩, 木下琢也, 後田実知子, 張岳輝子, 山下利佳, 橋詰淳哉, 栗原慎太郎
2. 発表標題 電子化クリニカルパスによるインシデント予防効果の評価
3. 学会等名 第17回日本医療の質・安全学会学術集会(神戸 神戸国際会議場、神戸国際展示場), 20221126-27
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 「あじさいネット」のNEXTステージ Withコロナ新時代に向けた新戦略・オンライン診療との融合～(株)インテグリティ・ヘルスケア "YaDoc" 連携でEHRとPHRの融合実現へ～
3. 学会等名 インテグリティ・ヘルスケア社主催_メディア・製薬企業向けセミナー(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 放射線検査 未読管理システムの構築
3. 学会等名 第52回 全国国立大学法人放射線診療部門会議(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 データヘルス改革と地域医療情報ネットワーク「あじさいネット」の17年間の取り組みと価値データヘルス改革への位置付け
3. 学会等名 ユート・ブレーションセミナー「データヘルス改革とオンライン資格確認(招待講演)」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 ICTを活用した地域連携強化 ~地域医療情報ネットワークと地域連携バス~、教育セミナー
3. 学会等名 第23回日本医療マネジメント学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 質の高い地域完結型医療のための地域医療情報ネットワーク ~長崎県@あじさいネットの17年間の取り組み~
3. 学会等名 令和3年度愛知県地域包括ケア相談体制整備事業講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 あじさいネットを利用した病院機能強化とオンライン診療への取り組みあじさいネットオンライン診療システム講演
3. 学会等名 長崎みなとメディカルセンター研修会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 三方良し（患者、非専門医、専門医）の専門診療支援システム ~地域医療情報ネットワークシステム「あじさいネット」に構築したネットワーク型バスの価値~
3. 学会等名 心・腎重症化予防Networkを考える会 In 長崎（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 質の高い地域完結型医療・患者中心医療のための地域医療情報ネットワーク ～長崎@あじさいネットの18年間の取り組み
3. 学会等名 但馬地域医療連携シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域医療情報ネットワークにより変わる地域医療 ～地域完結型医療時代の 地域医療の質向上の取り組み～
3. 学会等名 医療・病院管理研究協会研修会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 質の高い地域完結型医療時に必須となる地域医療情報ネットワーク 長崎県@あじさいネットの17年間とコロナ蔓延時とポストコロナの取り組み
3. 学会等名 JPI（日本計画研究所）特別セミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 矢野 洋, 松本武浩, 松本 恵, 金高賢悟, 大坪竜太, 久芳さやか, 森田 道, 田中 彩, 江口 晋, 永安 武
2. 発表標題 リアルタイムな連携を可能にするVirtual Private Network(VPN)を使用したがん地域連携パスの試み
3. 学会等名 第121回日本外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今田真莉亜, 山口優美, 竹田まりえ, 山口真美, 松本武浩
2. 発表標題 看護師主導の術前検査業務に対する患者満足度調査
3. 学会等名 第35回日本手術看護学会年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩, 田浦直太, 木下琢也, 臼井哲也, 中尾一彦
2. 発表標題 オンライン診療ソフトウェアを利用したPHR構築の取り組み
3. 学会等名 第25回日本遠隔医療学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木下琢也, 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也, 松屋合歓, 西口真由美, 堀田ほづみ, 中尾一彦
2. 発表標題 長崎県における連携病院への距離とオンライン診療アプリ採用との関連：電話診療を採用している診療所との比較
3. 学会等名 第25回日本遠隔医療学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河野浩章, 井川幸子, 馬場妙子, 黒部昌也, 本川哲史, 本田智大, 赤司良平, 米倉 剛, 松本武浩, 前村浩二
2. 発表標題 あじさいネットによる高齢重症心不全患者の病診連携診療の試み
3. 学会等名 第7回日本心臓リハビリテーション学会九州地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也, 木下琢也, 大伴哲治, 西口真由美, 堀田ほづみ, 藤沢章令, 本田千春, 牛嶋拓也, 伊藤真由美, 中尾一彦
2. 発表標題 原価計算システムの有効活用 ~COVID-19が病院経営に与えた影響の評価~
3. 学会等名 第41回日本医療情報学会連合大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也, 木下琢也, 大伴哲治, 西口真由美, 堀田ほづみ, 藤沢章令, 本田千春, 牛嶋拓也, 伊藤真由美, 中尾一彦
2. 発表標題 想定される様々な画像レポートに対応した画像・画像レポート未読対策システムの構築
3. 学会等名 第41回日本医療情報学会連合大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木下琢也, 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也, 松屋合歓, 西口真由美, 堀田ほづみ, 中尾一彦
2. 発表標題 新型コロナウイルスワクチンの関心とワクチン接種との関連：グーグルトレンドを用いた地域相関分析
3. 学会等名 第41回日本医療情報学会連合大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩, 田浦直太, 西口真由美, 堀田ほづみ, 中尾一彦
2. 発表標題 原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果
3. 学会等名 第21回日本クリニカルパス学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 堀田ほづみ, 西口真由美, 出口砂緒利, 松本武浩
2. 発表標題 患者用バス使用後の患者アンケート結果の評価
3. 学会等名 第21回日本クリニカルバス学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田浦直太, 一橋了介, 由良美幸, 松本武浩
2. 発表標題 当院におけるアウトカムの評価率向上に向けての試み
3. 学会等名 第21回日本クリニカルバス学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 黒部昌也, 吉牟田 剛, 河野 浩章, 松本 武浩, 前村 浩二
2. 発表標題 ネットワーク型地域連携バスを用いた心不全病診連携
3. 学会等名 第21回日本クリニカルバス学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 患者中心医療と地域完結型医療に不可欠な地域医療情報ネットワーク ~長崎県_あじさいネットの15年間の取組み~
3. 学会等名 令和2年度 地域医療の情報化コーディネータ育成研修(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 「あじさいネット」のNEXTステージ Withコロナ新時代に向けた新戦略・オンライン診療との融合 ～(株)インテグリティ・ヘルスケア “YaDoc 連携でEHRとPHRの融合実現へ
3. 学会等名 JPI(日本計画研究所) 特別セミナー(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域医療情報ネットワーク「あじさいネット」の在宅医療・救急医療での利用
3. 学会等名 在宅医療・救急医療連携セミナー(岩手県)(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域医療情報ネットワーク「あじさいネット」の在宅医療・救急医療での利用
3. 学会等名 在宅医療・救急医療連携セミナー(沖縄県)(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域医療情報ネットワークの価値と可能性 ～長崎県@あじさいネットの取組み～
3. 学会等名 第27回日本胎児心臓病学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 地域医療における「あじさいネット」の有効活用と長崎県周産期・小児発育支援システムの価値
3. 学会等名 周産期・小児発育支援情報ネットワークシステム講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 質の高い地域完結型医療のための地域医療情報ネットワーク ～あじさいネットはなぜ、いまだに成長・発展しているのか？～
3. 学会等名 東海病院管理学研究会第216回研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takuya Kinoshita, Takehiro Matsumoto, Naota Taura, Kazuhiko Nakao
2. 発表標題 Relationship of COVID-19 Pandemic and interests of online telehealth in Japan: a Time-lagged Correlation Analysis using Google Trends
3. 学会等名 JTTA Spring Conference 2021（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takuya Kinoshita, Takehiro Matsumoto, Naota Taura, Tetsuya Usui, Mayumi Nishiguchi, Hozumi Horita, Kazuhiko Nakao
2. 発表標題 Regional Correlation of Telemedicine Implementation and COVID-19: A Nationwide study Covering 15,502 Institutions in Japan
3. 学会等名 TTA Spring Conference 2021（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 病診連携型EHRの現状価値・未来と課題 ～長崎県@あじさいネット16年間の長期運用の中でわかってきた日本型EHRの真価～ 【大会企画セッション5】 EHR とPHR その将来を考える ～EHR、PHRに求められているものは？
3. 学会等名 第24回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也
2. 発表標題 あじさいネットに構築した周産期医療支援システムの評価
3. 学会等名 第24回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大原信, 池田和之, 井田正博, 後信, 宇都由美子, 岡本和也, 北村温美, 澤智博, 滝沢牧子, 武田理宏, 田中壽, 玉木哲郎, 中島和江, 中村京太, 松本武浩, 美代賢吾, 松村泰志
2. 発表標題 画像レポート見落とし問題の対策と求められるシステム機能 画像レポート見落とし対策と対策システムのアウトライン レポート見落とし防止対策システムの機能仕様項目の策定
3. 学会等名 第24回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西口真由美, 堀田ほづみ, 後田実知子, 木村由紀, 岡田みずほ, 松本武浩
2. 発表標題 PDAを用いた服薬登録の研修評価と効果～医療安全の観点から～
3. 学会等名 第21回日本医療情報学会看護学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩, 山口真美, 山村真由美, 田浦直太, 嶺豊春, 向田圭介
2. 発表標題 看護師によるMSC術前検査に対する医療の質・安全・収益に関する評価
3. 学会等名 第22回日本医療マネジメント学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田浦直太, 松本武浩, 岡田みずほ, 吉井孝博, 川崎浩二
2. 発表標題 当院における入院待機患者数についての検討
3. 学会等名 第22回日本医療マネジメント学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 嶺豊春, 室高広, 神田紘介, 山村真由美, 山口真美, 田浦直太, 松本武浩, 佐々木均
2. 発表標題 入退院センター(MSC)における入院前持参薬確認および術前休薬確認業務の取り組み
3. 学会等名 第22回日本医療マネジメント学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山口真美, 山村真由美, 嶺豊春, 向田圭介, 田浦直太, 松本武浩
2. 発表標題 入退院センター(MSC)における入院説明予約化の取り組みと評価
3. 学会等名 第22回日本医療マネジメント学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 【シンポジウム3】 在地域包括ケア時代の薬剤師が知っておくべき遠隔診療・ICTの現状と未来, 地域包括ケア時代の薬剤師が知っておくべき遠隔診療・ICTの現状と未来 地域完結型医療・在宅・地域包括ケア時代でのICT活用の必要性 長崎県@あじさいネットの取り組みから
3. 学会等名 第13回日本在宅薬学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也, 木下琢也, 大伴哲治, 西口真由美, 堀田ほづみ, 長友佳織, 伊藤真由美, 中尾一彦
2. 発表標題 あじさいネットへの機能追加によるオンライン診療普及に向けた取り組み
3. 学会等名 第40回医療情報学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩, 田浦直太, 臼井哲也, 木下琢也, 大伴哲治, 西口真由美, 堀田ほづみ, 長友佳織, 伊藤真由美, 中尾一彦
2. 発表標題 電子クリニカルパスに導入した退院指示自動化の効果
3. 学会等名 第40回医療情報学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 臼井哲也, 田浦直太, 鶴田一人, 宇野直輝, 松本武浩, 柳原克紀
2. 発表標題 オンライン型パス普及を見据えた汎用パス開発と導入の取り組み 電子化地域連携クリティカルパスにおける簡易パス運用の試み
3. 学会等名 第40回医療情報学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西口真由美, 堀田ほづみ, 岡田みずほ, 木下琢也, 田浦直太, 松本武浩
2. 発表標題 PDA(業務用携帯端末)を用いた服薬実施登録の運用評価
3. 学会等名 第40回医療情報学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀田ほづみ, 西口真由美, 岡田みずほ, 木下琢也, 田浦直太, 松本武浩
2. 発表標題 携帯情報端末の適正管理の現状と今後の課題
3. 学会等名 第40回医療情報学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本武浩
2. 発表標題 オンライン診療ソフトウェアを利用した慢性疾患診療の質向上の取り組み
3. 学会等名 第24回日本遠隔医療学会学術大会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>長崎大学 教員等総覧データベース https://researchers.ir.nagasaki-u.ac.jp/researchdetail.php?id=dTg3YjI2TgPsdXpoNXJuU04wRDhsS2JjRmg3VkdannVpc0YwZ2c9PQ== https://researchers.ir.nagasaki-u.ac.jp/researchdetail.php?id=dTg3YjI2TgPsdXpoNXJuU04wRDhsS2JjRmg3VkdannVpc0YwZ2c9PQ== 長崎大学教員個人業績WEB https://hyoka.jimu.nagasaki-u.ac.jp/IST?ISTActId=FINJPDetaiI&ISTKidoKbn=&ISTErrorChkKbn=&ISTFormSetKbn=&ISTTokenChkKbn=&userId=851</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	川崎 浩二 (Kawasaki Kouji) (60161303)	長崎大学・病院(医学系)・准教授 (17301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関